

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和7年3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 田川地区まちづくり協議会

1 交付決定額

I	金 550,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 田川地区まちづくり協議会運営事業				
実 施 主 体	田川地区まちづくり協議会・田川地区町会連合会			
実 施 日 (期 間)	令和6年4月1日～令和7年3月31日			
実 施 場 所	田川地区地域づくりセンター			
事 業 概 要	まちづくり協議会における総会、理事会等の会議資料作成や各種事業・学習活動に必要な消耗品・備品の購入など			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	地区の主要な関係団体を組織化した協議体を運営していくことにより、地域課題等の解決に向け、地区住民・団体が相互に連携しながら主体的に取り組んでいくことができました。			
課 題	継続して事業を進めていくため、事業推進部会の成果や反省事項を踏まえ、さらなる体制強化を図っていく必要があります。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	119,498円	43,974円	0円	75,524円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 田川地区まちづくり事業				
実 施 主 体	田川地区まちづくり協議会			
実 施 日 (期 間)	令和6年4月1日～令和7年3月31日			
実 施 場 所	田川地区地域づくりセンター			
事 業 概 要	昨年度、田川地区の歴史や文化をまとめた冊子『田川の教科書』を改訂したことにあわせ、映像とナレーションを加えたDVDの改訂版を作成しました。 10月20日に地区の「ふれあい文化祭」を開催し、DVDを放映しました。文化祭には計325人の参加がありました。			

地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	田川公民館のパソコン教室やお話の会（公民館図書委員会）のメンバーに依頼し、改訂版を作成することにより、より田川地区の歴史や文化に理解を深め、地域に愛着と誇りをもつことができました。 また普段公民館を利用している社会教育団体がその成果を発表することにより、日ごろの成果と文化意識の醸成を図ることができました。			
課 題	時代や環境の変化に対応していくため、常に最新の内容に更新していく必要があります。 イベントに携わる団体・個人を増やしていくことにより内容を充実させ、地区の一体感を生む大型イベントとして定着させていく必要があります。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	79,128円	79,128円	0円	0円

③ 事業名： 田川地区楽育事業				
実 施 主 体	田川地区まちづくり協議会・田川地区町会連合会			
実施日（期間）	令和6年7月27日			
実 施 場 所	田川公民館			
事 業 概 要	地区住民が気軽に集まり楽しめる夏祭り「ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み」を開催し、子供132人、大人180人、計312人の参加がありました。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	少子化により各町会で実施が困難となっている「ぼんぼん」「青山様」を田川地区合同で行い、あわせて夏祭りを開催することにより、伝統文化の継承と世代を越えた交流が図られ、地域の絆を一層深めることができました。			
課 題	イベントに携わる団体・個人を増やしていくことにより内容を充実させ、地区の一体感を生む大型イベントとして定着させていく必要があります。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	300,000円	300,000円	0円	0円

④ 事業名： 田川地区サロン事業・健康と福祉のまちづくり事業				
実 施 主 体	田川地区まちづくり協議会・田川地区町会連合会			
実施日（期間）	令和6年4月1日～令和7年3月31日			
実 施 場 所	田川公民館			
事 業 概 要	高齢者の孤立を防止するための居場所として、また健康づくり、食生活改善、防犯の学習、文化芸術の鑑賞の場として、地区内の関係団体・機関が連携して「田川地区いきいきサロン」を定期的に開催しました。 〔開催回数 11回 参加者数 延べ 553人〕 また11月と12月を田川地区健康福祉月間と位置づけ、丸の内病院や協立病院、市保健師が協力し、「明日の幸せ築くまち」と題した介護予防講座を開			

	催しました。 〔開催回数 3回 参加数者 延べ 112人（サロンと共催を含む）〕			
地域づくりの 成果・効果	高齢者の仲間づくりの促進と、高齢者を取り巻く諸課題を学び、解決していく場として定着しており、地域での見守り・支え合いの環境が整備できました。			
課 題	さらに新たな参加者を増やしていくため、高齢者への日常的な声掛けや企画内容の刷新・充実を図っていく必要があります。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	146,894円	126,898円	0円	19,996円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決 算 額 (計) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	645,520円	550,000円	0円	95,520円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0 円
-------	---	-----

[参考]繰越上限額=I×2/10

3 添付書類

別添